

## 令和3年度 介護保険特別会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	3. 地域支援事業費	大事業	4. 在宅医療・介護連携推進事業
項	3. 包括支援事業・任意事業費	中事業	
目	1. 包括支援事業費	担当所属	高齢者福祉課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額
経常	単独	計画	0	0	415

実施計画	第1章	ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）	5年間計画額	-
	基本施策3	高齢者福祉	令和3年度	-
			令和4年度	-
			令和5年度	-
	施策1	住み慣れた地域での包括的な支援体制を整備します	令和6年度	-
			令和7年度	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	484	
本年度当初査定額	408	529

財源内訳	国庫支出金	県支出金	繰入金	その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0	0	484	△484
本年度当初査定額	204	102	102	0	121

**<事業に関する説明>**

<p>(事業の概要) (ア) 地域の医療・介護の資源の把握、(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討、(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進、(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援、(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援、(カ) 医療・介護関係者の研修、(キ) 地域住民への普及啓発(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携、の8個の取組を実施します。</p>	<p>(事業の目的) 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、居宅に関する医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進します。</p>	<p>(事業の効果) 地域包括ケアシステムの構成要素である医療と介護の連携を推進することで、地域の高齢者が在宅医療・介護が必要な状態になっても、安心して在宅生活を継続することができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIとして設定している「在宅医療・介護の連携ができていく機関の割合」を向上するため、関係機関同士のネットワークを強化する事業に取り組む必要があります。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 日常生活圏域内の関係機関同士の連携を支援するための事業を行う補助金を交付します。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	336	336	0
10	193	225	△32

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
		04	02	02	01	01	00	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	242	204	219	△15
		06	02	02	01	01	00	地域支援事業交付金(包括的支援事業・任意事業)	121	102	110	△8
		08	01	03	01	01	00	地域支援事業繰入金(包括的支援事業・任意事業)	121	102	110	△8
差引一般財源								△484	121	△439	560	